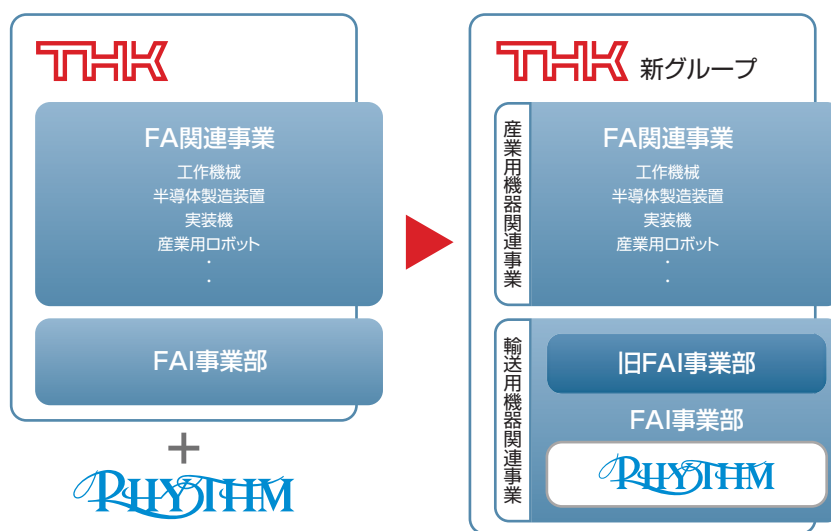


事業の種類別セグメント情報の開示

THKは、2007年5月に自動車部品メーカーである株式会社リズム（以下、「リズム」）の全株式を取得し連結子会社化したことにより、自動車や二輪車などの輸送用機器向けのビジネスが大幅に拡大しました。

そのためTHKでは、2007年度より、そ

れまでの工作機械や半導体製造装置をはじめとする各種産業用機器向けのビジネスを「産業用機器関連事業」、FAI事業部とリズムのビジネスを合わせたものを「輸送用機器関連事業」とし、新たに事業の種類別セグメントとして情報を開示することとしました。



各事業の特徴

産業用機器関連事業の特徴は、これまでの製販一体体制への取り組みを通し、受注の変動に機動的に対応し効率的な生産体制が構築できている事業、すなわち売上高の増加を着実に利益増につなげることのできる事業といえます。そのため、日本、米州、欧州、アジアの世界4極において、売上高の増加に向けた取り組みをより一層強化するとともに、さらなる収益性の向上に向けた取り組みを強化していきます。

輸送用機器関連事業の特徴は、開発・生産・販売など全ての面において、リズムとのシナジーを追求し、規模の拡大と収益

性の向上を目指していく事業といえます。また、高い成長が期待される一方、設備投資次第で動向が振幅する側面を持つ産業用機器関連事業と異なり、数年先の収益が見込める事業特性があります。輸送用機器関連事業におけるビジョンとして、「ゼロ保証*と独自技術を柱に、デファクトスタンダード製品をもつTier1メーカーとなる」を掲げ、このビジョンに向けた2010年度の数値目標として売上高700億円、ROA（総資産事業利益率）10%を設定しています。

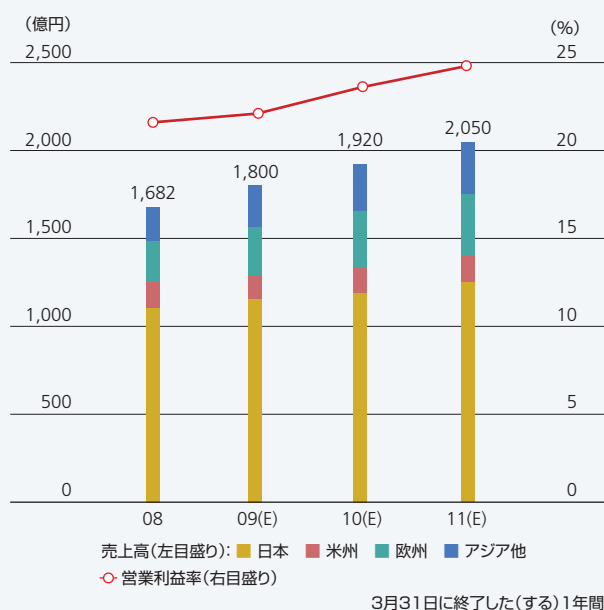
*ゼロ保証：重要不具合ゼロ、納入不具合ゼロ

2007年度の概況と2008年度の見通し

■ 産業用機器関連事業

2007年度の産業用機器関連事業の売上高は1,682億円、営業利益は362億円となりました。日本では、工作機械向けで売上高を伸ばすことができた一方、エレクトロニクス向けに関して、想定よりも回復時期が遅れ、また回復も弱かったことなどから、国内での売上高は前期に比べ減少しました。米州では、エレクトロニクス向けの調整が続く中で、既存顧客におけるシェア向上などにより、工作機械向け、一般機械向けなどで売上高を増加させることができました。欧州では、機械需要が増加する中で、工作機械向け、一般機械向けなどを中心に売上高を増加させることができました。アジアでは、中国における機械需要が増加する中、中国、台湾などにおいて工作機械向け、一般機械向けなどで売上高を増加させることができました。

2008年度の売上高は前期比7%増の1,800億円、営業利益率は22.1%を計画しています。日本、米州、欧州、アジアの各地域において、売上高を増加させるとともに収益性の向上を図っていきます。

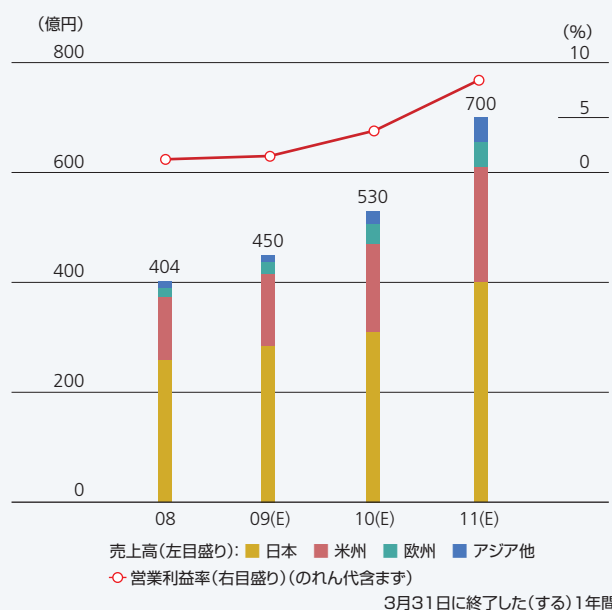


*配賦不能営業費用は除きます。

■ 輸送用機器関連事業

2007年度の輸送用機器関連事業の売上高は404億円となりました。日本、欧州において、新規顧客との取引を開始したことに加え、既存顧客との取引を順調に拡大させることができました。また米州では、自動車生産台数が減少する中でもほぼ計画通りの推移とすることができました。営業損益は、引き続きコスト削減に向けた取り組みを継続しましたが、将来の成長に向けて設備投資を実施したことによる減価償却費の増加や、のれん代の償却が27億円発生したことなどから、22億円の損失となりました。

2008年度の売上高は前期比11%増の450億円を計画しています。グローバルでの製造、販売体制の構築を進め、世界各地での提案営業を推進するとともに、主力の単体製品のみならずモジュール製品等の拡販に注力するなど、FAI事業部とリズムのシナジーの具現化を図ります。なお、2009年度以降の既に確定した受注に対応すべく先行投資を実施するため、2008年度の営業利益率は1.5%と、前期比で若干の上昇にとどまる見込みですが、2009年度以降はそれらの受注を売上につなげることで、利益率を向上させていきます。



*配賦不能営業費用は除きます。